

令和8年度日本大学推薦入試 推薦基準等説明会報告

5月8日(木)に、日大推薦入試の基準等説明会が開催されました。その内容の一部をお伝えします。今年度は3つの学部の説明があり、概要は以下の通りとなっています。

【理工学部】

付属推薦ではすべての方式で口頭試問が課されます。すべての学科で実施しますので、普段から高校での授業を大切に学力を身につけておきましょう。

【医学部】

基礎学力選抜のみ実施されます。出願要件では、「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」の中から2科目以上の履修が必要となっています。約30分間の面接が行われます。面接では志望理由、高校生活について、社会的なトピックスについてどう思うかが問われます。

【歯学部】

基礎学力選抜では、適性試験(英・国・数・一般常識)も実施。主な質問内容は志望動機、高校での活動状況、趣味・特技等の一般的なものから、将来の歯科医師像などです。

6月以降も様々な学部の説明会が実施されます。特に推薦基準については、毎年変わるものですし、皆さんにも知って欲しいことですので、高3を中心に随時伝えていきます。また、どの学部の説明にも、「志望動機を明確にすること」が強く求められています。学習成績の向上だけでなく、熱意がある、そして論理的な志望動機をきちんと考えておく必要があります。

基礎学力到達度テスト高3・9月

9月25日(木)に実施される基礎学(高3)の範囲を公開いたします。今回、数学は文系・理系に分かれ、地歴公民と理科があります。範囲をよく確認して準備しましょう。

教科	科目・試験範囲等
国語	「現代の国語、言語文化」 ※近代以降の文章(論理的な文章、文学的な文章)及び古典(古文、漢文)とする。
数学(文系)	「数学Ⅰの全範囲、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学Ⅱの全範囲は必須とし、数学B(数列、統計的な推測)、数学C(ベクトル)の3単元から2単元を選択」
数学(理系)	「数学Ⅰの全範囲、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学Ⅱの全範囲、数学B(数列)、数学Ⅲ(極限)、数学C(ベクトル)は必須とし、数学Ⅲ(微分法・微分法の応用)、数学B(統計的な推測)、数学C(平面上の曲線と複素数平面)の3単元から1単元を選択」
外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ」(リスニングテストを含む)
地理歴史・公民(文系)	「地理探究」全範囲 「日本史探究」 『詳説 日本史』第10章「幕藩体制の動揺」 ※大問1題は「歴史総合」と「日本史探究」のいずれから選択する。 「世界史探究」 『詳説 世界史』第1章「1 文明の誕生」から、第12章「4 中南米諸国の独立」まで ※大問1題は「歴史総合」と「世界史探究」のいずれから選択する。 「公共、倫理、政治・経済」 試験科目を「公共」と「倫理」若しくは「公共」と「政治・経済」からの選択とする。 「公共」 国際政治、国際経済、持続可能な社会づくりの主体となる私たちを除く 「倫理」 現代の諸課題を倫理を除く 「政治・経済」 現代日本における諸課題の探究、国際社会の諸課題の探究を除き、国際政治と国際経済の範囲から1題を選択から1科目選択
理科(理系)	「物理基礎全範囲、物理(電流と磁界、電磁誘導と電磁波、原子を除く)」、 「化学基礎全範囲、化学(有機化合物の性質、化学が果たす役割を除く)」 ※高分子化合物も除く。 「生物基礎全範囲、生物(生物の環境応答、生態と環境を除く)」 から1科目選択

「付属特別選抜」について

付属特別選抜は、学部等のアドミッションポリシーに基づく推薦です。付属高等学校等は、学部等より提示された募集人員及び推薦の要件等に基づく校長推薦により、推薦者を決定します。推薦要件は、評定平均値・履修科目・検定等の資格・競技実績など様々です。選考方法は、面接・小論文・実技試験などがあります。推薦要件や選考方法は、学科により異なります。実は「付属特別選抜」には2種類あるということ、みなさんはご存じですか。

①豊山枠

- 令和7年度入試では、法・文理・経済・商・国際関係・危機管理・理工・生産工・工・生物資源科・短大(三島)で募集がありました。 ※全ての学科ではありません
- 豊山生のみを対象とした募集です。校内選考を行い、出願者が決定してからの出願となります。

②付属枠(通称「全体枠」)

- 令和7年度入試では、文理・芸術・スポーツ科・松戸歯で募集がありました。 ※全ての学科ではありません

①②とも、例年「志望理由書」を提出することになります。1学期のうち、希望する学部学科についてしっかりと調べましょう。

「総合型選抜」について

総合型選抜とは「大学が求めている学生を選抜する」入試方式のことです。学力だけでなく、「その大学でこんなことを学びたい」という学ぶ意欲や入学後の目標、人物像、適性などが総合的に評価されます。そのため、総合型選抜では意欲や熱意を大学に強くアピールする必要があります。

選考方法などは学校推薦型選抜との共通点も多いですが、総合型選抜では学校長の推薦は基本的に不要です。書類審査や面接だけでなく、知識や思考力・表現力などを多面的に評価する選考方法が増えています。

また、出願条件として評定平均値が定められていることが多い学校推薦型選抜とは異なり、総合型選抜の場合は大学によってまちまちです。ただし、評定平均値の出願条件がなくても、出願時には必ず調査書を提出することになっていて、調査書がどのように選考で活用されるかは大学によって異なります。

試験内容を比較すると、学校推薦型選抜は小論文・面接が中心ですが、総合型選抜は小論文・面接以外にもディベートやプレゼンテーションなど、大学ごとに独自の試験を課す傾向があります。なかには大学の模擬授業を受けたいうえでレポートを書かせるような試験もあります。

総合型選抜は選抜方法が多岐にわたり、大学ごとの特徴が出やすい入試方式です。受験を検討するなら早めに募集要項を確認し、出願条件や試験の内容をチェックしましょう。特にレポートを提出したり、研究発表を行ったりする試験の場合は準備に時間がかかります。受験勉強と並行して進められそうか、よく考える必要があるでしょう。

総合型選抜は基本的に専願としている大学が多いですが、併願を認めている大学・学部も一部あります。ただし、合格したら入学辞退できないなど条件は大学により異なるので、募集要項でしっかり確認しておかなければいけません。学校推薦型選抜と比べて早くに試験が行われるため、準備や対策も早めに進めておきましょう。



高1進路講演会報告

4月8日(火)に実施した職業・進路適性診断テストに対する振り返りとして、4月23日(水)にライセンスアカデミー進路情報研究センター センター長の平川健様に本校アリーナにて講演をしていただきました。講演では、進路選択の基礎知識である「職業理解」や「学部・学科への理解」を促すための診断テストを通じて、これまで真剣に自分の将来について考えたことがなかったかもしれないが、高1での文理選択に向け自分と向き合い、将来や生き方を考えてみようとお話していただきました。高校生活ではどのように生活することが将来にとって大事なのか。特に大学に進学したら、どのような研究分野をどのように学ぶことができるのか。夢や目標に魅力があると、それを実現するために脳は活性化することを聞き、生徒は改めて驚かされていたようです。他にも、以下の内容について熱演していただきました。

1. 学力を構築するために一番大切なこと

『基礎・基本の定着、生活リズムの安定』

2. 脳のはたらき

脳はストレス情報は忘れていくプログラムがあるため、「今、何を学んでいるか」ということを意識しながら授業に参加することで、理解力は増し、学習の定着率が上昇する。

3. 家庭学習の重要性・コツ

聴覚を刺激した学習は、頭の中に残りやすく暗記力・理解力がアップする。

講演後、「職業・学びガイド」という冊子が配布され、中には各職業に必要な資格や進路実現までの主なルートが記載されています。今後は、大学のHPを見たり、オープンキャンパスに行き学校の魅力を肌で感じるなど、実際に行動に移してほしいと思います。自分が志望する学部・学科・コースでどんなことが学べるのか、その大学の特色や設備、留学制度など、志望する大学が本当に自分に合っているのかを理解することが高1で文理選択をする皆さんにとってとても大切になってきます。



特進他大学説明会

6月20日(金)の5・6時間目に特進クラスを対象、7時間目は全クラスの希望者を対象に、他大学説明会を実施します。今年度の参加校は次のようになります。

上智大学、明治大学、立教大学、中央大学、法政大学
東京理科大学、神田外語大学、北里大学
明治薬科大学、東京薬科大学、東京農業大学
防衛大学校・防衛医科大学校 など

また、7時間目には新宿医療専門学校、日本外国語専門学校にも参加していただき、鍼灸学や柔道整復師、海外留学についての説明を担当していただきます。各大学の担当者から直接説明を聞けるのは、貴重な機会です。有意義な時間にするためにも、事前に各々で疑問点を上げ、質問を用意することが望ましいです。前向きな気持ちで参加しましょう。

当日のスケジュール

13:00~13:10	生徒移動・準備
13:15~13:55	説明会① (特進クラス)
14:10~14:50	説明会② (特進クラス)
15:10~15:50	説明会③・個別相談会 (特進・進学・体育)

※各説明会終了後、簡単なアンケートがあります。
※7時間目を利用して、進学・体育コースも参加できます。

既に希望調査を実施していますので、調整後に当日の詳細と聴講する学校をお伝えします。

日大オープンキャンパス情報



日大をはじめ、各大学もオープンキャンパスがスタートしました。実際にキャンパスに足を運ぶことで志望学部学科を検討することもできます。興味のあるもしくは検討している学部の日時を確認して、計画的に参加してください。高2・3は現時点で志望校となっている学部のオープンキャンパスに参加することによって、より一層モチベーションアップにつながると思います。実際に学部の雰囲気を感じることによって、「ここで学びたい！そのために勉強を頑張る！！」という動機づけになることも「勉強したいことと違う」と気づくことで希望する進路変更を一考できるようになります。また、同系統の学部のオープンキャンパスに行くことにより、志望校との違いを見つけることも志望理由書を書く上でとても重要になるので、時間をつくって参加してみてください。

以下は今年度実施予定の日本大学各学部オープンキャンパス日程一覧(登校日は除く)です。事前予約が必要となっている学部もありますので、各学部のホームページ等を確認してください。

学部	日程
法	【進学相談会】7/27(日)・11/3(月祝)
文理	7/13(日)・9/21(日)
経済	7/27(日)・9/28(日)
商	7/19(土)・7/20(日)
芸術	6/22(日)・8/2(土)・8/3(日)
危機管理	7/20(日)・8/24(日)
スポーツ科	7/20(日)・8/24(日)
国際関係	7/26(土)・7/27(日)・8/3(日)
生物資源科	8/2(土)・8/3(日)
医	8/2(土)
薬	8/2(土)・8/3(日)
理工	6/15(日)<駿河台>・8/2(土)・8/3(日)<船橋>
生産工	7/13(日)・8/3(日)
工	8/2(土)・8/3(日)
歯	【進路相談会】6/15(日)・7/20(日)・8/24(日)
松戸歯	7/26(土)・8/9(土)・10/12(日)

6月の進路行事

- 6月7日(土) 高3保護者会(高3保護者)
- 6月18日(水) 高2特進進路講演会(4時間目)
- 6月20日(金) 特進他大学説明会(高特進:午後)
- 6月25日(水) 高1特進進路講演会(4時間目)



6月7日(土)は高3保護者会です。今後の付属推薦に関するスケジュールや注意点の説明が主になります。保護者に対する説明会ではありますが、生徒本人も当然理解しておく必要があります。生徒の皆さんへの説明は、今後のホームルームで担任から行われます。全てが自分のことですので、しっかりと理解して計画を立てていきましょう。

6月18、25日に予定されている高1・高2特進対象の進路講演会は、駿台予備学校の講師をお招きします。駿台独自の入試分析により、受験に役立つ情報や受験への取り組みなど、様々な情報が得られます。「受験は情報戦」と言われます。プロからの話を聴いて、自分の将来の受験に活かせるようにしてください。

6月20日(金)の午後に、特進クラス対象他大学説明会が行われます。7時間目の時間帯は他コースの生徒も希望があれば参加可能です。今回も、GMARCHをはじめとした難関大学や、防衛大学校などもご参加いただけます。将来の可能性はどこで見つかるかわかりません。積極的に参加してみましょう！

次回7月号は、6月末に発行予定です